

高知県立伊野商業高等学校

商業技術部 土佐和紙研究会

高校生ボランティア・アワード2022

「自然の豊かさを守る紙に」

活動概要

土佐和紙だからこそ、表現できる、温かい感触や見た目の優しさ、光を通して見える美しさがあります。その魅力は、現代の生活の中に取り入れると心を癒す効果がある優れた素材です。切れ端さえも、作品の一部として取り入れることのできる、少しも無駄のない土佐和紙は、もっともっと身の回りのものに使用し、活かされるべき素材です。そのために私たちが活動していることは次のことです。

☆土佐和紙の切れ端を活用して、土佐和紙ランプシェードを作成。地域の土佐和紙展示会場を飾りつけ

☆土佐和紙を活用してインスタ映えする看板を作成し、土佐和紙作品展の巡会場の看板として、たくさんの地域の方々に楽しんでいただきながら写真を撮影して広めていただく。

☆高知発祥の保湿ティッシュのティッシュケースを土佐和紙で一つ一つ折って作成し、高知県の観光列車「志国土佐 時代(トキ)の夜明けのものがたり」で配布。毎週県内外のお客様が乗車されるため、メッセージカードを入れて土佐和紙を広め、実際に手で触れて良さを感じていただいている。



「夢はいの町の土佐和紙から！」

活動の目的・志など

2009年、2013年、日本の伝統工芸「和紙」が世界遺産（無形文化遺産）として登録されました。しかし、私たちの高校がある、いの町の特産品であり、千年以上の伝統を持つ「土佐和紙」は、世界遺産には含まれていませんでした。

ループル美術館所蔵品の修理などに用いられるなど世界にその名をとどろかせている土佐和紙なのに・・・

「なんで土佐和紙は選ばれなかったか？」
（どうして土佐和紙は選ばれなかったの？）

私たちの活動はこの疑問から始まりました。調べていくうちに、選ばれなかったのは、伝統工芸産業として連綿と維持するための後継者がいないこと、そして土佐和紙の魅力について発信力が足りなかったことが、その原因ではないかと考えました。

そこで、まずは私たち地元の高校生が、地域の宝である土佐和紙の魅力を知ることから活動を始めました。

「生活の中で愛される紙に」

活動の詳細(実施内容/成果・実績など)



令和元年度の卒業生に土佐和紙でできたコサージュを作成し、それをつけて卒業式に挑んでもらいました。

新型コロナウイルス感染防止のため、私たちは卒業式に参加することは叶いませんでしたが、参加した顧問の先生から卒業生も大変喜んでいただくと聞きました。

そして昨年からはボランティア生徒や生徒会メンバーに作成募集をしたり、保護者の方々や先生方にも協力をお願いして、PTA活動として活動することが決定！

たくさんの人たちと一緒に土佐和紙に触れ、土佐和紙の良さを知ってもらいながら活動することを、伊野商業高校の伝統にしていきたいと考えています。

伊野商業高校から、いの町から土佐和紙を広めていきます！

「夢はいの町の土佐和紙から」 今後の展望・夢など

*土佐和紙の良さを多くの方々に知っていただくこと、そして身近に感じていただいてもっともっとたくさんの人に使っていただくことが私たちの夢です。

*土佐和紙で名刺を自分たちの手で漉き、学校内の先生方やいの町の役場、観光協会の方々など地域の方に活用していただきたい。名刺交換をするたびに、土佐和紙の話をしていただけるきっかけとなり、土佐和紙の名刺が県内や県外、そして海外へと夢を運んでくれることになると願っています。更に私たちの学校のデザインコースにデザインをお願いして、名刺を使う方が好きなデザインを選んでいただくことで、使っていただく方にも楽しんでいただきたいと思います。

*小学生に土佐和紙のフォトスタンド講座を開いたり、いの町紙の博物館さんとコラボして、「紙とあそぼう作品展」の表彰式を土佐和紙で飾り付けをしたり、受賞者の方々（小中高生）のコサージュを土佐和紙で作成したりして、小さな方から土佐和紙に触れて温かさや楽しさを感じてもらおう活動をしていきます。

*土佐和紙職人さんや和紙に関する企業の方など大人の方と一緒に商品開発をして、土佐和紙と一緒に広める活動をしていきます。



活動団体プロフィール

私たちは和紙研究会です。検定合格と商品開発を大きな目標とする「商業技術部」内のプロジェクトチームで、私たちは土佐和紙の商品開発を行っています。部員は全学年合わせて6人と少ない人数ですが、商業科の先生や土佐和紙手漉き職人の尾崎さん、土佐和紙スタイリストの田原さん、活動を手伝ってくれる友達などに協力してもらいながら、楽しく新しいことに挑戦しながら活動しています。